

研究発表会のご案内

福岡市教育委員会研究指定発表会

平成23年10月6日（木）

第53回 九州小学校国語教育研究大会（福岡大会）・福岡県小学校国語教育研究大会

平成24年1月27日（金）

※ 多数のご参加をお待ちしています。

本校の研究の歩み

平成17～19年度 福岡市教育委員会研究指定

研究主題「おもいを伝え合い、共有できる子どもを育てる国語科学習指導法の研究」

副主題 ～繰り返しの話し合い活動を取り入れた活動構成の工夫～

※ 国語科「話すこと・聞くこと」領域で、平成19年11月28日発表会を開催。

平成20年度

研究主題「読むことの授業の基礎・基本について」

※ 研究領域を「読むこと」に変え、学習過程の共通理解を中心に、「読むこと」領域の授業改善に取り組む。

平成21～23年度 福岡市教育委員会研究指定

研究主題「読むことの楽しさと価値を実感できる子どもの育成」

副主題 ～書く活動の焦点化と交流の工夫を通して～

※ 文学的な文章を読み深める1時間の中に「話し合い①→書く活動①→話し合い②→書く活動②」を位置づけ、どの子ども自分の考えをつくって話し合い、読みを深める学習の在り方の研究に取り組んでいる。

今年度の研究について

（研究主題）

読むことの楽しさと価値を実感できる子どもの育成

～書く活動の焦点化と交流の工夫を通して～

（研究目標）

「読むこと（文学的な文章）」の学習において、書く活動の焦点化と交流の工夫を行い、読むことの楽しさと価値を実感できる子どもの育成を図る国語科学習指導法を明らかにする。

（研究仮説）

文学的な文章の読みの学習展開において、書く活動の焦点化を図り、考えの交流のさせ方を工夫すれば、読むことの楽しさと価値を実感できる子どもを育成することができるであろう。

(研究内容)

- 読み深める中心となる文や言葉を明確にする。
- 使う読みのたからを明確にする。
- ※ 「この文(言葉)から、こんな内容(価値)を、こんな読み方(技能)で」を明確にする。
- 1時間の中に書く活動を位置づける。
- ※ 書く活動①(読み深めの中心)をどのように位置づけるか。低は、サイドラインを引かせたり、視写させたり、吹き出しを書かせたりする。中は問いかけに対する書き込みをさせる。高は、話し合い①で出た読みを深めるための書く活動を位置づける。
- 書く活動②は、本時のまとめに何を書かせるかを明確に与える工夫をする。低学年では書き出しを工夫して与えたり、中学年では文型を示したり、高学年では自分の読みをどのように付加・修正・強化することができたかを書かせたりする。
- 特別支援部による特別支援の視点をふまえた授業づくりについて

(検証方法)

文学的な文章を読み深める段階における「自分の考えの形成及び交流」について、「話し合い①→書く活動①→話し合い②→書く活動②」を設定し、授業のTC記録と抽出児童(3人)の反応分析を中心に、話し合い①で書いて考えることを明確にし、書く活動①で自分の考えをつくれていたかどうかと、それをもとにした話し合い②で読みを深め、書く活動②で初めの考えから付加・修正・強化できたことを書くことができていたかどうかを検証する。

(全研実践単元・題材等名)

- こえにだしてよもう「くじらぐも」(1年)
- ようすを考えて読もう「お手紙」(2年)
- 場面の様子をそうぞうしながら読もう「ちいちゃんのかげおくり」(3年)
- 学習したことを生かして「ごんぎつね」(4年)
- 学習したことを生かして「大造じいさんとガン」(5年)
- 表現を味わい、豊かに想像しよう「やまなし」(6年)
- ほんをよんでしょうかいしよう「かいものにいこう」「じどうしゃくらべ」(特別支援)

(今後の計画：23年3月まで)

- 学年研の実施
- 研究のまとめ
- 読むことに対するアンケートの実施、集約、検証 など